

じゆくご 熟語ランド



第47回

田代しんたろう

ひょうたんから

駒が出る

言葉の意味

ひょうたんは真ん中がくびれたウリの一種で、昔から乾燥させて水筒のように使われていました。「駒」は馬のことです。



小さなひょうたんから大きな馬が出てくるというので、思いもよらないことやとんでもないことが起きるといふ例えに使われます。

こんなふうに使っよ

ビンゴゲームで一等賞とはひょうたんから駒が出るとはこのことね



冗談で応募したのに主役に選ばれるなんて

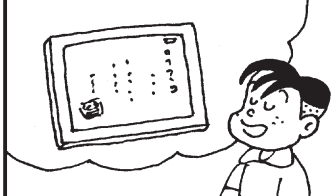


習二君のひょうたんから駒が出る

がんばって書道を続けていれば



いつかは文部科学大臣賞を受賞とか



そんなひょうたんから駒が出るようなこと起きるわけないよ



ひょうたんから馬が出ることはないだろうけれど……



アラジンがランプをこすると魔神が現れるって話もあるし



習二君の願いを叶えましょう



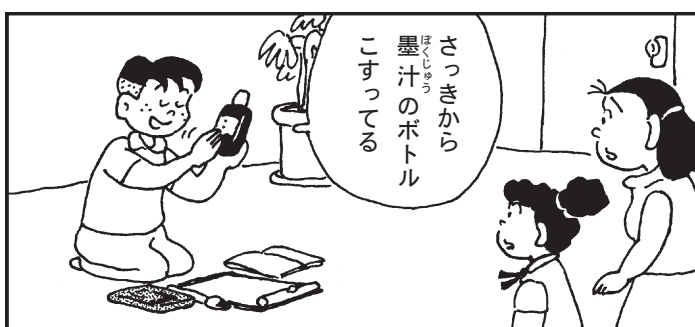
なんてことが……



お兄ちゃんなんだかおかしいよ



さっきから墨汁のボトルこすってる





しゅうじ君の ことわざ。

喜怒哀楽

(きどあいらく)

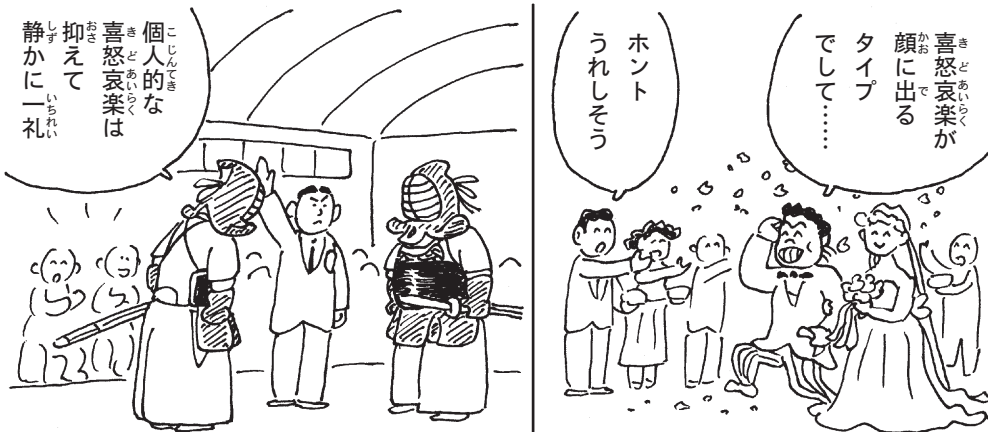
言葉の意味

人間の基本的な感情を表す4つの漢字の組み合わせです。喜(よろこび)、怒(いかり)、哀(かなしみ)、楽(たのしみ)ですね。



喜怒哀楽の4つの感情以外に「愛(あい)」や「憎(にくしみ)」「恨(うらみ)」もありますが、人間のさまざまな感情すべての意味にも使われます。

こんなふうに使っよう



しゅうじ君の
喜怒哀楽

